

来年の労山カレンダーを飾る
山岳写真を募集します。
四季折々の日本の山々、
高山植物、登山者のいる
臨場感あふれる作品を歓迎します。

労山カレンダー
魅惑の山々
2018

掲載写真を大募集

2017年5～6月「浅草岳山麓」
武田 喜代人（郡山勤労者山岳会）



資格：労山会員、個人会員

作品：ポジまたはデジタルデータ
デジタルデータでの応募は
1000万画素以上に限ります。
作品の修正は厳禁。データは
CDでお送りください。CDは
返却しません。
タイトル、撮影年月日、撮影場
所、撮影者氏名、所属団体、住所、
連絡先を明記してください。
応募は一人10点まで。

選考：高橋 良行 氏
（日本山岳写真集団）

締め切り：2017年6月30日（金）必着

応募：〒162-0814
東京都新宿区新小川町 5-24
日本勤労者山岳連盟カレンダー係

※ 本誌 28 ページに選考のポイント・
アドバイスを掲載しています。

掲載写真を 大募集!!

応募作品が
決まらない...

会の仲間で
写真の上手な人が
いるんだけど...

以前応募したけど
選ばれなかった...

写真は好きで
撮ってるけど、
あまり人に見せた
ことはない...



そんなあなたに向けて 選考のポイントを紹介します!

選考のポイント・アドバイス

恒例のカレンダー写真募集がスタートした。個人会員を含めすべての会員に、発行部数約5000部・大判(595mm×420mm)のカレンダーを彩る写真として採用されるチャンスがある。1枚の写真作品で2カ月のカレンダーとなるため、選ばれるのは表紙を含めて7点だ。審査委員長は今年も高橋良行氏(日本山岳写真集団)にお願いした。右記を一読のうえ、はじめての方から常連応募者まで、みなさんの力作をお寄せいただきたい。また、まわりを見渡して「この写真ステキ!」と思ったら、撮影者に応募を勧めてみてほしい。



● 季節感を重視する。山域は北アルプスなどに偏らないよう、地方の名山を意識的に使用したい。

1・2月

新年の幕開けらしい作品。登山者だけが知る「圧迫的な冬山」の景観。

3・4月

残雪、早春の山。下界は春だが、まだ山は雪。そんな中でも春の近づきを感じられる作品。

5・6月

春でも初夏に近い作品。梅雨時の樹林の作品など秀作も候補作になるが、明るい傾向の作品が有利。

7・8月

これぞ「夏山」という爽快感、スケール感のある作品。

9・10月

色鮮やかな紅葉の山。秋色の山。

11・12月

山域によってさまざまな表情の山がある。晩秋、新雪の山。渋くて味わいのある山など。年末に向かうので夕景の秀作なども候補。

● 「表紙」は、カレンダーの顔。縦構図で大きく使用する。新鮮な作品に期待。

● 登山者やテントサイトなどを生かしながら臨場感、スケール感のある作品、また、クライミングや沢登りの作品も期待している。これらをぜひ横構図でも撮影してほしい。

● コンデジ(コンパクトデジタルカメラ)での作品も入選している。撮影時の設定でデータサイズを大きく、ブラさないこと、適正な明るさでの撮影が大切である。

*1 以上は、本誌2015年11月号掲載の高橋審査委員長によるカレンダー選考・所感からの抜粋である。2016年11月号掲載分の所感と併せて応募の際の参考にされたい。

*2 募集要項は本誌3ページでご確認ください。